

第8回 カフェアオキ

「美術館がない都市なんて！」

12月23日(日・祝) 15:00~16:00 (開場 14:30) 会場: 国立新美術館 3階講堂 (先着 210名)
〈出演〉陣内秀信 (法政大学デザイン工学部教授)、深井晃子 ((公)京都服飾文化研究財団理事)
青木 保 (当館館長)

●陣内秀信 (じんない・ひでのぶ)

法政大学デザイン工学部教授、法政大学エコ地域デザイン研究所所長

東京大学大学院工学系研究科博士課程単位取得退学・工学博士イタリア政府給費留学生として
ヴェネツィア建築大学に留学、ユネスコのローマ・センターで研修。1982年法政大学に着任。
工学部専任講師、助教授、教授を経て、2007年より現職。専門はイタリア建築史・都市史。
パレルモ大学、トレント大学、ローマ大学にて契約教授を勤めた。中央区郷土天文館館長。

著書:『ヴェネツィア - 水上の迷宮都市』(講談社)、『都市と人間』(岩波書店)、
『南イタリア都市の居住空間』(編著、中央公論美術出版)、『地中海世界の都市と住居』
(山川出版社)、『迷宮都市ヴェネツィアを歩く』(角川書店)、『イタリア海洋都市の精神』
(講談社)、『イタリアの街角からスローシティを歩く』(弦書房)、『水の郷 日野一農
ある風景の価値とその継承』(共著、鹿島出版会) 他



撮影 渡邊茂樹

●深井晃子 (ふかい・あきこ)

お茶の水女子大学、並びに同大学院修士課程にて西洋服装史を専攻。その後パリ第4大学(ソルボンヌ)で美術史を専攻。1979年より公益財団法人京都服飾文化研究財団(KC I)に勤務。現在、同財団理事、チーフ・キュレーター。「華麗な革命」(1989)、「モードのジャポニスム」(1994)、「身体の夢」(1999)、「COLORS ファッションと色彩」(2004)、「Stylized Sculpture」(2007)といったKC Iの展覧会を企画。2009年には「ラグジュアリー: ファッションの欲望展」を企画、開催。2010年から「Future Beauty: 30 Years of Japanese Fashion」展を企画、開催。2013年、同展は米国二館に巡回を予定している。主な著書に『ジャポニスム イン ファッション』1994(平凡社)、『名画とファッション』1999(小学館)、『ファッション 18世紀から現代まで 京都服飾文化研究財団コレクション』(監修)2002(タツシエン)、『ファッションから名画を読む』2009(PHP新書) など。



撮影 福永一夫

●青木 保 (あおき・たもつ)

国立新美術館長、文化人類学・文化政策研究を専門とする。東京生まれ。

現在、青山学院大学大学院特任教授を兼任しながら、異文化でのフィールドワークも続けている。
美術と美術館もその対象。生活の必需品はジャズとリラックスできるカフェ。自身で経験することを大切に、1972年から73年にかけてはバンコクのタイ仏教寺院で僧修行を行う(「タイの僧院にて」中公文庫、にその体験を書いている)。文化庁長官も務めた。気さくな人柄で、スーツからカジュアルまでTPOに応じたファッションのセンスも悪くないという評判。

著書:近著に「『文化力』の時代」(岩波書店、2011年12月刊)「作家は移動する」(新著館、2010年)。その他、「多文化世界」「異文化理解」(以上、岩波新書)「儀礼の象徴性」(岩波現代文庫)「アジア・ジレンマ」(中央公論新社)「『日本文化論』の変容」(中公文庫)など多数。



当館 ロビーコンサートにて